

いちのみやの芸術文化

- 特集「妙興寺の歴史と文化財」
- 加入団体の紹介
- 「一宮市芸術祭」のご案内
- これからの催し
- 文化講演会「宮本隆治」



くつう 妙興寺靈宝弘通の略図(部分)

一宮市には、一宮市博物館・一宮市三岸節子記念美術館・一宮市尾西歴史民俗資料館・木曾川資料館など先人の残した文化を紹介する施設があります。私たちの「身近な文化」を学んでみませんか？

妙興寺の歴史と文化財

妙興寺の歴史

大和町にある妙興寺は臨済宗妙心寺派の寺院で、山号を長嶋山、正式には妙興報恩禅寺といえます。南浦紹明(大応国師、一二三三〜一二三〇)没後の弟子、滅宗宗興(大照禅師、一二三〇〜一二三八)によって開かれました。宗興は亡き紹明を妙興寺の勧請開山としました。現在、勧請開山(紹明)と創建開山(宗興)の肖像は、並んで開山堂と仏殿に祀られています。

また、境内から出土した軒丸瓦や埴仏の小片などから、妙興寺創建以前の奈良時代には、既に寺院があったことが確認されています。いつの時期か、その寺院は廃寺となり、宗興が貞和四年(一二四八)に新たに妙興寺を創建、十七年後の貞治四年(一二六五)に、総門や仏殿、客殿(本堂)などを始めとする主要な建造物が、完成しました。それらは今日でも整然と並び、鎌倉時代の禅宗寺院様式を見ることが出来ます。



▲江戸時代の妙興寺 (『尾張名所図会』後編巻一より)

◀重要文化財 足利義教像 (妙興寺蔵)



その後の妙興寺は、室町幕府の保護を受け、文和二年(一二三三)に二代將軍足利義詮の祈願所になりました。延文元年(一二五六)には、北朝の後光厳天皇が直筆で書いた「國中無双禅刹」の額(勅額)をいただき、勅願寺となりました。創建当初の姿を今日まで伝える勅使門(重要文化財)には、この勅額が今も掛かっています。また、永享四年(一四三三)の秋には、六代將軍足利義教が、妙興寺に半日滞在したという記録もあります。

妙興寺は諸山に列され、十方住持制という、幕府が住職を任命派遣する官寺の制度によって維持されてきましたが、十六世紀半ばには、戦

◀市指定文化財 南化玄興像 (妙興寺蔵)



乱の中で所領を失い、衰微していききました。そういった中、天正十八年(一五九〇)には、豊臣秀次(あるいは秀吉)の命によって南化玄興(妙心寺五十八世・一五三八〜一六〇四)が入寺し、寺の復興がなされました。それ以後、妙興寺はそれまでの大応派から妙心寺東海派となり、玄興の法系が嗣いできました。秀吉の死後は代々尾張藩主の保護を受け、慶長六年(一六〇一)には、松平忠吉によって丹羽郡嶋宮村(現江南市)の内二百石が寺領として寄進され、歴代藩主によって寺領が安堵されました。

妙興寺境内には、祖師や高僧の死後、その弟子が師の徳を慕って、墓塔の頭や敷地内に建てた塔頭といわれる小院があります。寛文七年(一六六七)

の寺院の記録によると、当時の境内に八つの塔頭があり、中島郡矢合村圓光寺(現稲沢市)をはじめ、中島郡・丹羽郡内に妙興寺ゆかりの寺も九つありました。現在は移転や廃



▲ 右から開山門、御成門、鐘楼

寺などで、この塔頭は五つとなっています。

今日の妙興寺は、臨済宗公認の修行道場(僧堂)として、日々、師家の指導のもと雲水(修行僧)が厳しい修行に励んでいます。

妙興寺の文化財

妙興寺には、国の重要文化財、県・市指定文化財をはじめ、絵画・彫刻・工芸・書蹟・古文書など、あらゆる分野の文化財が今に伝えられています。その文化財を公開する維持



▲ 妙興寺靈宝弘通の略図 (『尾張名所図会』後編卷一より)

会が、毎年二回、客殿にて行われ、『尾張名所図会』に描かれた「妙興寺靈宝弘通の略図」を思わせるような会が、盛大に行われています。

平成二十六年三月には、大応国師と大照禅師の九条袈裟二領(旧県指定文化財)が新たに国の重要文化財に指定されました。また、平成二十三年度から平成二十五年度までの三年をかけて、仏殿の本尊・釈迦三尊坐像(市指定文化財)が修復されました。

さて一宮市博物館では、常設展示リニューアル記念として、平成二十六年十月十八日(土)から十一月十六日(日)まで特別展「妙興寺展」を開催します。妙興寺に伝えられた文化財を一堂に集め、妙興寺の奥深い歴史とその魅力の数々をご紹介します。

(一宮市博物館学芸員 石黒智教)

※本稿の執筆および特別展の開催に、格別協力を賜りました妙興寺様に深謝の意を表します。



▲ 市指定文化財 釈迦三尊坐像 (妙興寺蔵)

「おもてなしの心」という優しい言葉は、「茶道の精神」からではないでしょうか。先頃のオリンピック誘致の際は、その気持ちが世界の人々の心を動かしたことは、私達の記憶に残っています。

さて、戦後の早い時期に、茶道文化を立ち上げてくださった先人達のお陰で、当地は茶どころとして揺るぎないものとなりました。先頃、真清田神社境内にて、月釜を懸けている桃丘会も65周年を迎え記念茶会が盛大に催されました。また、私達も所属している一宮茶道連盟も、36年間という長い年月を重ねました。活動の中で、日本の伝統文化である茶道を、後世に受け継ぐことの大切さを痛感し、お手伝いできるよう頑張ります。

お茶を嗜んでいる人は、皆元気いっぱいです。お抹茶が元気の秘訣かもしれません。ぜひ仲間になりませんか。稽古場では小・中学生の姉妹が、お母さんと一緒に楽しく稽古をしています。大人の

中で緊張している姿は、大変微笑ましいものです。

今年の一宮茶道連盟の活動は、7月に一宮スポーツ文化センターにて、気楽にお茶を味わえる七夕まつり協賛の納涼茶会を開催しました。9月28日には、真清田神社の桃丘亭と参集殿で市民茶会を、11月16日の妙興寺での茶道連盟茶会は、濃茶、薄茶、煎茶と点心席で行います。お気軽に参加していただき、お茶の楽しさを感じていただきたいと思います。



◀七夕まつり協賛「納涼茶会」にて

【問合せ先】中島 万貴 ☎71-7458

「真清短歌会」の歴史は古く、昭和20年に会を結成し、以来70年近く、途切れることなく活動しています。

活動の内容は、今月で通巻450号となる隔月刊の会誌「蒼原」の作成や、毎月第2日曜日に一宮スポーツ文化センターで開催する、会員の指導の下に、広く一般市民の方も参加する市民短歌教室(年10回)です。その他にも新年短歌会、芸術祭参加短歌大会、市外へ繰出す吟行会、真清田神社の祭事に協賛参加する短冊祭、観月祭などがあります。

行事の紹介が長くなりましたが、このような教室や行事、会誌の発行を通じて、私達は短詩型文学、短歌の市民への普及と技量の向上に努めています。

それぞれの人生において、過ぎゆく日々の中から喜怒哀楽などを掬い上げ、三十一文字のなかに

詠う楽しさを味わうためにも、真清短歌会の仲間になりませんか。

また、中心会員として指導にあたってこられた伊藤正彦さんは、本年正月の宮中歌会始の儀に入選されました。真清短歌会の私達は、この栄誉を誇りとして、短歌づくりに日々励んでいるところです。

まずは市民短歌教室を覗いてみてください。歓迎します。



◀吟行会にて

【問合せ先】長谷川 久子 ☎45-0352

「三曲」とは、日本古来の楽器である箏^{そう}と三絃、尺八の合奏曲を指します。

箏は通称では琴とも言われ、奈良時代の前半(710～740)に中国の唐から伝わり、当時の都である京都を中心に、皇帝や貴族の間で雅楽を演奏する楽器として、楽しまれていました。その様子は、枕草子や源氏物語、平家物語などに記述されています。三味線とも言われる三絃の歴史は意外と浅く、室町時代に渡来して江戸時代に発展しました。また、尺八は奈良時代に中国から唐楽の楽器として伝来し、聖徳太子が尺八を吹いていたという史実もあります。江戸時代には、普化宗^{ふけしゅう}に属する虚無僧^この法器として演奏されていたため、明治4年には廃止令が出されましたが、後に黒沢琴古^{くろさわきんこ}などの愛好家により、尺八を音楽の楽器として扱っていくことが許可され、次第に広がっていきました。このようにそれぞれ独立して発展し、明治時代

以降、それまでの古典音楽から近世の音楽として発展し、現在の現代音楽として続いています。

三曲会は各地に存在します。一宮三曲協会は絃方10社中、尺八6社中で構成され、各社中に門人が数名から数十名までいます。合同で定期演奏会を、毎年11月23日に一宮スポーツ文化センターで開催しています。その他にも、各社中が独自に演奏会や研修会を開催して、伝統音楽の継承に力を注いでいます。



◀ 師匠の演奏

【問合せ先】小川 統山 ☎45-8837

「尾西面打会」は日本の伝統芸能である、能・狂言の舞に使用する能面や狂言面を、室町時代から江戸時代に作成された面を手本にして、作成しています。

日々の活動は、尾西グリーンプラザで行っており、古海素功^{ふるみそこう}講師の指導の下、今年で17年目に入りました。「面打ち」の面白さは、同じ見本面で作成しても、作者の技量と個性が作品に表われ、1つとして同じ作品にならないところです。また、お面の種類も多く、次は何を作ろうとなり、飽くことがありません。

最初は1面を作成するのに、約1年弱と少し時間がかかりますが、講師や先輩が親切に指導してくれますので、誰でも楽しく良い作品が出来上がります。

発表の場としては、1年に1回、三岸節子記念美術館にて作品展を開催しています。他にも美濃

路の宿場町「起宿」で船問屋として栄え、江戸末期から明治初期の古民家として現在も残っている「湊屋文右衛門邸^{みなとやぶんえもん}」でも、会員の作品を常時展示しています。

現在は男16名、女2名の合計18名で、普段は毎月第1、3土曜日の午前中に活動しています。「面打ち」に興味を持たれた方は、ぜひ私達と一緒に、自分だけの作品を子や孫に残してみませんか。お待ちしております。



◀ 面打会教室にて

【問合せ先】堤 健二 ☎68-2292

第69回 一宮市芸術祭

今年の「一宮市芸術祭」は次のおり開催されず。ぜひお出掛けください。

行事	期 日	時 間	開催場所	入 場 料 参加料等	団 体
三 美 会 展	9月2日(火) ～7日(日)	AM9:00～PM5:00 (2日はPM1:00～、 7日はPM4:00まで)	三岸節子記念 美 術 館	入場無料	グループ絵ごころ三美会
楽しく描こう会 水彩画展	9月9日(火) ～14日(日)	AM9:00～PM5:00 (9日はAM11:00～、 14日はPM4:00まで)	尾西歴史民俗 資 料 館		楽しく描こう会
尾 西 展	9月10日(水) ～15日(祝)	AM9:00～PM5:00 (15日はPM4:00まで)	三岸節子記念 美 術 館		尾西美術連合
第25回 手つむぎ・染め・織り展	9月17日(水) ～21日(日)	AM10:00～PM5:00 (21日はPM4:00まで)	玉 堂 記 念 木曾川図書館		尾張もめん伝承会
第50回記念 麗 筆 会 展	9月19日(金) ～21日(日)	AM10:00～PM5:00 (21日はPM4:00まで)	一宮スポーツ 文化センター		麗 筆 会
第16回 能・狂言面作品展	9月20日(土) ～21日(日)	AM9:00～PM4:30 (20日はAM10:00～、 21日はPM4:00まで)	三岸節子記念 美 術 館		尾西面打会
第16回 桃 墨 会 展	9月23日(祝) ～28日(日)	AM9:00～PM5:00 (23日はPM1:00～、 28日はPM4:30まで)	三岸節子記念 美 術 館		桃 墨 会
市 民 茶 会	9月28日(日)	AM10:00～ PM3:00	真清田神社	1,800円	一宮茶道協会
第17回 一宮市民音楽会		PM1:00～ PM4:00	尾西市民会館	一般1,500円 高校生以下無料	一宮第九をうたう会
ゆ ず の 会 展	10月1日(水) ～5日(日)	AM9:00～PM5:00 (1日はPM0:00～、 5日はPM3:00まで)	一宮スポーツ 文化センター	入場無料	ゆ ず の 会
あざみの会 絵画展	10月2日(木) ～5日(日)	AM9:00～PM5:00 (2日はAM10:00～、 5日はPM4:00まで)	一宮スポーツ 文化センター		あ ざ み の 会
第42回一宮音楽家協会 定期演奏会	10月5日(日)	PM2:00～ PM4:00	尾西市民会館	500円	一宮音楽家協会
水彩画発表会	10月7日(火) ～12日(日)	AM9:00～PM5:00 (7日はPM1:00～、 12日はPM4:00まで)	尾西歴史民俗 資 料 館	入場無料	タ ン ポ ポ の 会
四季の風 水彩画展	10月7日(火) ～13日(祝)	AM10:00～PM6:00 (7日はPM1:00～、 13日はPM3:00まで)	玉 堂 記 念 木曾川図書館		四 季 の 風
山ぶどうの会展	10月9日(木) ～12日(日)	AM9:30～PM5:00 (12日はPM4:00まで)	一宮スポーツ 文化センター		山 ぶ ど う の 会
土 筆 の 会 展	10月9日(木) ～12日(日)	AM9:30～PM5:00 (9日はAM11:00～、 12日はPM4:30まで)	一宮スポーツ 文化センター	入場無料	土 筆 の 会
花畑スケッチブック展	10月9日(木) ～23日(木) (土曜・日曜・祝日を除く)	AM10:00～PM4:30 (23日はAM11:00まで)	ふれあいセンター た く み		花 畑
狂 俳 大 会	10月11日(土)	PM1:00～ PM5:00	葉栗公民館	一般500円	一宮狂俳壇連盟
尾西ウィンドオーケストラ 第76回定期演奏会	10月12日(日)	PM2:00～ PM4:00	尾西市民会館	一般1,000円 中学生以下無料	尾西ウィンドオーケストラ
尾西俳句大会	10月13日(祝)	AM10:30～ PM5:00	尾西生涯 学習センター	800円	尾西俳句会
いちのみや文芸2014 発 刊	10月18日(土)	1冊 800円 随想・随筆、現代詩、漢詩、短歌、俳句、川柳、狂俳の市民文芸集		入場無料 (要入場整理券)	講師：宮本隆治さん (フリーアナウンサー)
文 化 講 演 会		PM1:30～ PM3:00	尾西市民会館		
一宮シティー室内管弦楽団 第21回定期演奏会	10月19日(日)	PM2:00～ PM4:00	尾西市民会館	500円	一宮シティー室内管弦楽団

行事	期日	時間	開催場所	入場料 参加料等	団体	
秋季謡曲大会	10月26日(日)	AM9:20~ PM4:30	産業体育館		一宮謡曲同好会	
一宮市民華道展	11月1日(土) ~2日(日)	AM10:00~PM4:00 (2日はPM3:30まで)	一宮スポーツ 文化センター	入場無料	一宮華道連盟	
一宮吟剣詩舞道大会	11月2日(日)	AM9:00~ PM4:30		800円	一宮吟剣詩舞協会	
俳句大会		AM11:00~ PM4:30		参加無料	一宮俳句協会	
一宮現代詩祭		PM1:00~ PM4:00			一宮現代詩協会	
いぶき 水彩画展	11月3日(祝) ~9日(日)	AM9:00~PM5:00 (3日はPM1:00~、 9日はPM4:00まで)	尾西歴史民俗 資料館	入場無料	いぶき	
市民短歌大会	11月9日(日)	PM1:00~ PM4:30	一宮スポーツ 文化センター	500円	真清短歌会	
尾西芸能祭	11月15日(土) ~16日(日)	PM0:00~ PM4:00	尾西市民会館	入場無料	尾西芸能祭実行委員会	
尾西華道展・お茶会		AM10:00~ PM4:00 (お茶会はPM3:00まで)			尾西華道展・お茶会 実行委員会	
一宮茶道連盟茶会	11月16日(日)	AM9:00~ PM3:00	妙興寺	8,000円	一宮茶道連盟	
第60回記念 中部日本書道会一宮支部展	11月22日(土) ~23日(祝)	AM10:00~ PM4:00 (22日はPM1:00から)	一宮スポーツ 文化センター	入場無料	(公社)中部日本書道会 一宮支部	
第43回 一宮支部 学生書道展						
曾山流樹徳吟詠会山瑩会 錬成会	11月23日(祝)	AM9:45~ PM4:00	尾西商工会館		山瑩会	
一宮三曲協会 定期演奏会		AM11:00~ PM4:30	一宮スポーツ 文化センター		一宮三曲協会	
第38回 一宮合唱祭		PM0:30~ PM4:30	尾西市民会館		一宮合唱協会	
第30回 一面会 能・狂言面作品展	11月24日(振替) ~30日(日) (25日を除く)	AM10:00~PM6:00 (24日はPM1:00~、 30日はPM4:00まで)	玉堂記念 木曾川図書館			一面会
水絵の会展	11月26日(木) ~30日(日)	AM9:00~PM5:00 (26日はPM0:00~、 30日はPM3:30まで)	三岸節子 記念美術館			水絵の会
第4回 雅楽フェスティバル	11月30日(日)	PM1:30~ PM3:30	一宮市民会館			特定非営利活動法人 旭雅楽会
ガリバンバン 水彩画展	12月2日(火) ~7日(日)	AM9:00~PM5:00 (2日はPM1:00~、 7日はPM4:00まで)	三岸節子 記念美術館			尾西ガリバンバンの会
一宮市民吹奏楽団 第39回定期演奏会	12月7日(日)	PM1:30~ PM3:30	一宮市民会館		前売400円 当日500円	一宮市民吹奏楽団
第12回 尾西作家協会展	12月9日(火) ~14日(日)	AM9:00~PM5:00 (9日はPM1:00~、 14日はPM4:30まで)	三岸節子 記念美術館	入場無料	尾西作家協会	
第8回 パレット水彩画展	12月16日(火) ~21日(日)	AM9:00~PM4:30 (16日はPM0:00~、 21日はPM4:00まで)	尾西歴史民俗 資料館		パレット会	
安美&コンプリオ クリスマスコンサート	12月21日(日)	PM2:00~ PM4:00	尾西市民会館		安美&コンプリオ	



「ファンタジー」 林 三平

《市および市内公共施設の催し》

一宮市博物館

☎(46)3215

常設展リニューアル記念

特別展「妙興寺展」

日時 10月18日(土)～11月16日(日)

午前9時30分～午後5時
(入館は午後4時30分まで、
月曜休館、月曜日が休日の
場合は翌日休館。)

内容 長嶋山妙興報恩禅寺に伝来

する多数の古文書や美術工
芸品などを紹介し、妙興寺
の歴史をたどります。

観覧料 一般 500円

高大生 200円

小中生 100円
※市内小中学生・65歳以上無料
※常設展観覧料を含む

「妙興寺展」関連事業

講演会

日時 ①10月19日(日)②11月9日(日)

日③11月16日(日) 午後1時
30分(開場は開演30分前)

講師 ①稲垣宗久氏(妙興寺住職)

②山岸公基氏(奈良教育大
学教授)③伊藤大輔氏(名古
屋大学教授)

内容 ①妙興寺の今昔②妙興寺の

仏像・肖像彫刻をめぐって
③妙興寺の絵画について

会場 ①妙興寺本堂

②③妙興寺公民館

定員 先着100名

※各日、正午より博物館にて整理
券を配付。ただし、聴講には本
展観覧券、もしくはその半券等
が必要。

体験講座

日時 ①10月26日(日)②11月2日(日)

午後1時30分

内容 ①妙興寺で禅体験!

②妙興寺の森で遊ぼう!

講師 ②近藤修氏(一宮市文化財

保護審議会委員)

会場 博物館及び妙興寺

定員 ①10組20名(保護者と小・

中学生1～2人で1組、応

募多数の場合は抽選)②定

員なし

※要特別展観覧料・①のみ要申込

展示解説

日時 10月25日(土)・11月3日(祝)

11月15日(土)

午後1時30分

内容 担当学芸員が特別展の見と

ころを解説します。

※要特別展観覧料

企画展「2014

一宮市現代作家美術秀選展」

日時 11月29日(土)～12月14日(日)

午前9時30分～午後5時

(入館は午後4時30分まで、

月曜休館。)

内容 第72回一宮市美術展市長賞

受賞者、依頼出品者、一宮

美術作家協会・一宮書道協

会・一宮写真協会推薦者の

作品を展示します。

観覧料 一般 200円

高大生 100円

小中生 50円

※市内小中学生・65歳以上無料

三岸節子記念美術館

☎(63)2892

特別展「森田りえ子展」

日時 10月4日(土)～11月24日(休)

午前9時～午後5時

(入館は午後4時30分まで、

月曜休館、月曜日が休日の

場合は翌日休館。)

内容 平成を代表する日本画家、

森田りえ子氏(1955～)

の、花鳥画や現代女性像を

追及した作品などを紹介

します。

観覧料 一般 800円

高大生 400円

小中生 200円

※市内小中学生・65歳以上無料

「森田りえ子展」関連事業

ギャラリートーク

日時 10月11日(土)・11月2日(日)

午後2時～

内容 担当学芸員が特別展の見どころを解説します。

※要特別展観覧料・定刻までに美術館受付に集合

森田りえ子アーティストトーク

日時 10月18日(土)

午後2時～3時30分

内容 森田りえ子氏に、これまでの画業をたどりつつ、自作の見どころや、魅了された日本画の世界について語っていただきます。

※要特別展観覧料・定刻までに美術館講義室に集合

子どもアートツアー

日時 10月25日(土)

午後2時～3時

内容 学芸員と一緒に展覧会の作品を楽しく鑑賞します。

対象 子供

※参加無料(保護者は要特別展観覧料)・定刻までに美術館受付に集合

ミュージアムコンサート

日時 10月26日(日) 午後2時～3時

時30分(開場は開演30分前)

内容 「森羅万象 和楽器による典雅な調べ」をテーマに演奏します。

演奏者 笹野大栄氏(箏・十七弦・生田流)・山川昭夫氏(箏・生田流はだひかる氏(篠笛)・西川華香氏(日舞・西川流)

定員 100名

料金 一般 2,000円

高大生 1,000円

小中生 500円

※9月20日(土)より美術館受付にて販売・コンサートチケットにて当日に限り特別展・常設展観覧可

対談

日時 11月8日(土) 午後2時～3時

時30分(開場は開演30分前)

対談者 森田りえ子氏(日本画家) 笹岡隆甫氏(華道末生流 笹岡家元)

内容 “花”の表現者である立場から、伝統文化に息づく日本人の美意識についてお話いただきます。

会場

美術館1階講義室

定員 先着100名※聴講無料

常設展「三岸節子 輝く色彩」

日時 10月4日(土)～1月18日(日)

午前9時～午後5時

(入館は午後4時30分まで、月曜休館、月曜日が休日の場合は翌日休館、12月24日(水)と12月28日(日)～1月4日(日)休館。)

内容 暖かな光にあふれる室内画、輝くような色彩の風景画など、三岸節子ならではの美しく豊かな色使いにあふれた作品をご紹介します。

観覧料 一般 320円

高大生 210円

小中生 110円

※市内小中生・65歳以上無料・特別展開催中はその料金に含む



尾西歴史民俗資料館 (62) 9711

特別展「木曾川今昔」

日時 10月11日(土)～11月16日(日)

午前9時～午後5時

(入館は午後4時30分まで、月曜休館、月曜日が休日の場合は翌日休館、12月24日(水)と12月28日(日)～1月4日(日)休館。)

内容 一宮に住む人々の生活に大きな影響を与えてきた木曾川についてその自然・歴史

定員 20名程度

内容 来年の干支に絵付けをします。

日時 12月7日(日)

午前10時～11時30分

内容 旧林家住宅を会場にお茶会や山野草展、箏の演奏などを2日間にわたり催します。

入場料 無料(お茶会は300円)

子ども講座

日時 11月22日(土)・23日(日)

午前10時～午後4時

(お茶会は3時まで)

第14回もみじまつり

日時 11月22日(土)・23日(日)

午前10時～午後4時

※要参加費・要申込み。詳しくは9月号広報を参照。

講座「美濃路探訪 秋～尾張偏」

日時 10月26日(日)

午前9時～午後5時

内容 尾張に残る美濃路の史跡「萩原・稲葉宿」を見学します。

11月号広報を参照。

尾西図書館

☎(62)8191

読み聞かせ講習会

日時 11月5日(水)～12月3日(水)の

毎週水曜日

午後1時30分～3時30分

内容 「おはなし会をより楽しく」

と題し、絵本の読み方・選び方と指人形作りなどを紹介します。

定員 20人

参加料 無料

一宮市民会館

☎(71)2021

朝イチ！クラシックサロン・

ステージVol.2「シヨパン〜19世紀

パリ社交界の華」

日時 10月5日(日) 午前10時30分

～(開場は30分前)

入場料 1,000円

※全席自由・コーヒー券付き

スーパーライブin一宮

いっこく堂・ヒロシ・U字工事・

たかまつなな

日時 10月12日(日) ①午後0時15

分～②午後4時30分～(開

場は45分前)

入場料 S席 4,000円

A席 3,500円

B席 2,500円

※前売りは各席500円引き

※全席指定・3歳未満入場不可

一宮市尾西市民会館

☎(62)8222

野村萬斎 狂言会

日時 11月24日(祝) 午後1時～

(開場は30分前)

入場料 5,500円

※全席指定・未就学児入場不可



『狂俳月例会』

【問合せ先 一宮狂俳壇連盟】

☎(51)2286

日時 9月13日(土)・11月8日(土)

12月13日(土) 午後1時～

会場 葉栗公民館

内容 各自10句持参、互選により

優秀作を記録に残します。

(初心者歓迎)

参加料 無料

『市民短歌教室』

【問合せ先 真清短歌会】

☎(72)7691

日時 9月14日(日)・10月12日(日)

12月14日(日) 午後1時～

会場 一宮スポーツ文化センター

内容 真清短歌会委員により実作

指導します。(初心者歓迎)

参加料 無料

申込み 当日直接会場

『市民俳句教室』

【問合せ先 一宮市民俳句教室】

☎(73)5504

日時 9月28日(日)・10月26日(日)

11月30日(日)・12月21日(日)

午後1時～

会場 一宮スポーツ文化センター

内容 当季雑詠3句を一宮市民俳

句教室委員が指導します。

(初心者歓迎)

参加料 無料

申込み 当日直接会場

『市民川柳教室』

【問合せ先 一宮川柳社】

☎(45)6951

日時 9月28日(日)・10月26日(日)

11月30日(日)・12月21日(日)

午後1時～

会場 一宮スポーツ文化センター

内容 自由吟および課題吟を一宮

川柳社委員が指導します。

(初心者歓迎)

参加料 無料

申込み 当日直接会場

『秋の市民俳句吟行会』

【問合せ先 一宮市民俳句教室】

☎(73)5504

日時 10月17日(金) 午前9時～

行先 小里川ダム(恵那市)、稲津

公民館(瑞穂市)他

対象 どなたでも

定員 40名(定員を超えた場合は

抽選)

参加料 500円(昼食は持参も

しくは道の駅で購入するこ

とも可)

申込み▼9月25日(木)までに事務局
へ連絡☎(85)7075

『馬場獅子屋形打離子保存会 秋祭』

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎(85)7075

日時▼10月19日(日) 午後1時～

会場▼熱田社(千秋町加納馬場)他
内容▼道行打離子を演奏しながら
獅子屋形を曳き回します。

『重吉甘酒祭保存会 甘酒祭』

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎(85)7075

日時▼10月26日(日) 午後2時～

会場▼八幡神社(丹陽町重吉)
内容▼神前に甘酒と強飯を供え、
お神楽を奉納します。甘酒
と強飯は参拝者に振るまわ
れます。

『県文化協会連合会の催し』

【第39回愛知県文連美術展】

会期▼9月30日(火)～10月5日(日)

午前10時～午後6時(3日)
は午後8時まで、5日は午
後4時まで)

会場▼愛知県美術館ギャラリー

入場料▼500円(前売400円)

高校生以下無料

※生涯学習課で前売りしています。

【愛知県民茶会】

期日▼11月23日(祝)

午前10時～午後3時

会場▼みよし市文化センター
サンアート

茶券▼前売券800円(2席)
当日券500円(1席)

※生涯学習課で前売りしています。

【西尾張部芸能大会】

期日▼11月30日(日)

開演▼午後1時10分(予定)

会場▼犬山市南部公民館(予定)

入場料▼無料

当協会出演団体▼扇寿々々会
(舞踊部門)

『加入団体の催し』欄に情報を 掲載しませんか？

このコーナーでは一宮市芸術文化協会加入団体の活動情報を
募集します。掲載を希望される団体は、発行月3・6・9・12月
の前々月15日までに、下記の必要事項を任意の様式にて記入
の上、事務局まで提出してください。

必要事項

①行事名 ②団体名 ③問合せ先電話番号 ④日時
⑤会場 ⑥対象 ⑦参加料 ⑧申込方法 ⑨その他
必要事項

提出先

〒491-8501 一宮市芸術文化協会事務局
(住所不要)
またはFAX 0586-73-9213

第72回

一宮市美術展

開催要項

【会期】11月13日(木)～16日(日) 午前
9時30分～午後5時(最終日は
4時30分)

【会場】一宮スポーツ文化センター
(一宮市真清田1-2-30)

【種目】日本画/洋画/彫刻・立体
/工芸/デザイン/書/写真

【主催】一宮市・一宮市教育委員会

【作品搬入】11月8日(土)・9日(日)

午前9時30分～午後5時

【出品規定】1種目につき1人1点
とし、他の公募展・コンクール
に未発表の作品に限る。中学校
卒業以上の年齢の者で、市内市
外は問わない。

【出品料】無料

【規格】

【日本画】20号以上100号以内で
額入り。ヒートン及び吊ひも(又
は針金)を取り付けておくこと。

【洋画】20号以上150号以内で額
入り。版画は4号以上で額入り。
ヒートン及び吊ひも(又は針金)
を取り付けておくこと。

【彫刻・立体】制限なし。(安定して
展示できる作品)

【工芸】制限なし。壁面展示の作品
にはヒートン及び吊ひも(又は
針金)を取り付けておくこと。

【デザイン】A2サイズ以上B1サ
イズ以下でパネル張り。小型は
パネルに構成。ポスターフレ
ム可。(ポスター・イラスト・C
G等表現自由)ヒートン及び吊
ひも(又は針金)を取り付けてお
くこと。

【書】仕上がり寸法は91cm×91cm
(3尺×3尺)又は半切以上・1
76cm×48cm以下。縦横自由。
枠張り又は額装。篆刻は二印以
内で印影のみとし、縦39cm×横
30cmとする。刻字は1㎡以内と
する。規定の用紙に墨書(パソコ
ン可)による釈文を添付するこ
と。

【写真】全紙以上でパネル張り。(木
製パネルに限る)額不可。ただし
組写真は半切以上2枚以内。(作
品裏面で固定すること)

【作品搬出】11月16日(日) 午後5時
～7時(予備日・11月18日(火)午
前9時30分～11時30分)

【問い合わせ先】一宮市教育委員会
生涯学習課 生涯学習・文化グル
ープ ☎(0586)8517075

平成26年度

文化講演演会

主催◇一宮市教育委員会・一宮市芸術文化協会

よい印象の言葉力

30秒で人の心をつかみ
1分でまとめる

10月18日 土

13時30分～15時
(開場は30分前)

一宮市尾西市民会館

宮本 隆治 さん (フリーアナウンサー)



入場無料

(整理券が必要です。) ※当日は、手話通訳があります。

整理券

※入場無料ですが、整理券が必要です。
(満席の場合は、入場をお断りすることがあります。)
整理券は9月17日(水)より本庁舎4階生涯学習課、尾西生涯学習センター(尾西庁舎)、尾西南部生涯学習センター、木曾川事務所総務管理課(木曾川庁舎)、各出張所、中央・玉堂記念木曾川図書館、一宮・尾西市民会館、一宮スポーツ文化センターで配布します。

会場アクセス

※駐車場には限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
一宮市循環バス(いーバス)尾西北コース23番、尾西南コース26番「尾西庁舎」下車徒歩1分、もしくは、名鉄バス「尾西庁舎」下車徒歩1分(名鉄一宮駅バスターミナル2番のりばで「起」「西中野」「蓮池」行きに乗り約10分)

お問い合わせ先

一宮市芸術文化協会事務局(市生涯学習課内)
☎0586-85-7075(直通)

当日、ロビーにて
『いちのみや文芸2014』
(1冊800円)を販売します。

[題字] 武山翠屋
[編集・発行] 一宮市芸術文化協会

[連絡先] 一宮市芸術文化協会事務局(市教育委員会生涯学習課内)
〒491-8501 愛知県一宮市本町2丁目5番6号
TEL 0586-85-7075 / FAX 0586-73-9213